

# 就労移行支援事業所連絡会

～全体会～

4月19日(月)開催

4月19日(月)に今年度1回目となる就労移行支援事業所連絡会(以下、連絡会)の全体会を開催いたしました。年度始めでご多忙の中、4事業所8名の方々が参加され、各事業所の近況を含めた情報共有と、連絡会の目的ならびに今年度方針の確認を行いました。後半は、リーダースタッフは今年度の具体的な活動内容を、新人・経験の浅いスタッフは顔合わせや同地域の社会資源を知るきっかけとなるように、それぞれグループワークを行いました。

## 目的

「地域の就労系福祉サービスの中核として、連携・研鑽・発信を行う」

## 今年度の方針

- ①関係性づくり…活発な意見交流と情報共有をする中で、地域における効果的な連携や支援方法を模索する
- ②スキルアップ…支援ノウハウの共有や経験別の研修による支援力とモチベーションの向上を目指す

## リーダースタッフ

○就労移行支援事業所間での見学会について

実施したい理由として、以下の理由が挙げられました。

- ・以前から他の事業所と関係性を深めたかった
- ・他事業所の活動や雰囲気を知り、利用者さんに還元したい
- ・日々の活動や関わりに自信のない部分について、経験と知識を深めたい
- ・どのようにアセスメントをしているのか、ツールなどを知りたい

そして、より効果的な見学会の実施と今後の連絡会の活動を能動的なものとしていくために、

- ・受け入れ先の利用者さんにも参加してもらえる内容を各事業所で考えてみる
- ・福祉同士だけでなく、対外的なプレゼンの練習として活かすような工夫を試みる
- ・事業所の見学だけではなく、参加した事業所同士での質疑応答の時間も設ける
- ・1回の見学会に複数事業所が参加し、多角的に振り返りや意見交換をする
- ・メーリングリストを作成して、受け入れ先事業所が参加状況を取りまとめる

などの意見が挙げられ、今後も実施に向けて具体的な話し合いを続けていく予定です。



## 支援員

新人もしくは経験の浅いスタッフの顔合わせの意味合いで設定した会でしたが、日々の就労支援で困っていることを積極的に相談し合う形でグループワークが進みました。

「本人に一般就労の意欲があるが、家族の理解を得るのが難しい」や、「就労のモチベーションを上げるためにどのような関わりをしているか」などの話が出ておりました。

日々の業務で困っていることを気軽に話し合え、お互いの事業所の取り組みを聞く中で刺激し合える関係づくりができればと感じました。現場支援員の皆さん、ありがとうございました！



## まとめ

今回の連絡会では、前年度から話題に挙げられていた就労移行支援事業所見学会の本格的な打合せや、日々の支援における課題と事例の共有等の話し合いが行われました。

依然としてコロナ禍であるという認識を持って感染対策を行いつつ、地域や就労移行支援事業所の支援力向上とノウハウの共有、実践的な連携を目標に掲げて、今年度の連絡会の活動を継続してまいります。次回は、今回話し合われた就労移行支援事業所見学会の内容打合せと就労支援員向けの研修企画を予定しております。活動の内容は随時当センターホームページにて公開してまいりますので、ご覧ください。



(担当：荻原・増田)